



マンスリー・ハイライト 拝啓社長殿

## マネジメントのための経営財務情報

第 639 号 この資料は全部お読みいただいて 2 分です。

今回のテーマ： 2023 年 IPO 市場の総括と 2024 年の展望

2023 年（暦年ベース、以下同じ。）の IPO 市場は新規上場会社数が 124 社（TOKYO PRO Market を含む、以下同じ。）と 2022 年の 111 社から 13 社の増加となりました。2024 年は足元 3 月末までの新規上場会社数（執筆時点での予定社数）は 35 社となっています。

### 市場別及び業種別の新規上場会社数の推移

【表 1】は市場別の新規上場会社数の推移を示したものです。2023 年はグロース市場への上場が 65 社と前年から 5 社減少しましたが TOKYO PRO Market への上場は過去最高となる 32 社となり、市場全体としては前年同様にスタートアップ市場への上場が多く見受けられました。

【表 2】は業種別の新規上場会社数の推移を示したものです。新規上場会社数の業種別割合については情報・通信業の割合が 2022 年の 33.3%から 2023 年の 37.9%と 4.6 ポイント上昇しましたが、サービス業の割合は 25.8%と、前年の 32.4%から 6.6 ポイント減少しました。

【表 1】

	2020	2021	2022	2023	2024
プライム※	6	6	3	2	0
スタンダード※	23	24	14	21	2
グロース※	63	91	70	65	18
TPM	10	13	21	32	15
その他	0	0	3	4	0
合計	102	134	111	124	35

【表 2】

	2020	2021	2022	2023	2024
情報・通信業	37	53	37	47	10
サービス業	28	33	36	32	9
卸売・小売業	9	7	11	15	6
不動産業	2	6	10	8	4
その他	26	35	17	22	6
合計	102	134	111	124	35

（注）2024 年は、3 月末までの新規上場会社数（執筆時点での予定社数）/TPM：TOKYO PRO Market

※ 2022 年 3 月以前の上場会社数は、東証一部はプライム市場、東証二部及び JASDAQ スタンダードはスタンダード市場、マザーズはグロース市場に含めて集計しています。

### 2023 年 IPO 銘柄の特徴～初値時価総額 1,000 億円以上、公開価格等の設定プロセスの変更による影響

2023 年の初値時価総額が 1,000 億円以上の会社は 6 社と 2022 年の 3 社から 3 社増加しました。銀行業 2 社など含む大型 IPO が多かったという印象です。また、2023 年 10 月より公開価格等の設定プロセスが変更になりました。この変更により上場日を一定の期間で設定した会社は 4 社、仮条件の範囲外での公開価格設定を上回った会社は 4 社となりました。

### お見逃しなく！

2023 年 11 月 20 日に「金融商品取引法等の一部を改正する法律」が第 212 回臨時国会で可決、四半期報告書が廃止され、半期報告書の提出が義務付けられることになりました。この改正により四半期報告書は廃止されますが、四半期決算短信の提出が義務付けられているため、上場準備会社においては、改正前と同様、期末日後 45 日以内に四半期決算短信を提出できる社内体制を構築する必要があります。なお、上場申請書類における四半期報告書の取扱いについては、現状、新たな公表は行われていないため、今後の動向について注視していく必要があります。